

丁寧過ぎる御回答いただいたもんですから、時間が足りなくなりました。最後に、一つ注文したいことがあるんです。この質問をするに当たっていろいろ考えてみると、何か源泉混々みたい、今の行政から忘れ去られた施設が全島に幾つもあるんじゃないかなと思うんです。それはもう経過はいいです。これだけ広い地域を合併によって自分の守備範囲ががっと広がって、以前のことはわからん人がずっと来るんですから、引き継ぎをちゃんとする。そして、あと川端に霧状の噴水が出る施設があることわかってあります。ところが、1回も使われたことないですね。私は忘れ去られたと思うったんです。わかってあればいいんですけど、そういう施設が全島で幾つもあるんじゃないかなと、その辺の再点検を要望して、先人たちが残してくれた貴重な財産を大いに活用して、すばらしいまちにしてほしいと思います。それを要望して、3分も余らせてやめます。ありがとうございます。

○議長（小川 廣康君） これで、洲上清君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開は2時5分からといたします。

午後1時48分休憩

午後2時03分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

報告します。洲上清君から早退の届け出があっております。

引き続き、市政一般質問を行います。6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） こんにちは。一般質問を2件ほどお尋ねいたします。

1点目は市民が多目的に集える憩いの場所としての施設を開設していただきたいと思います。その中身としましては、旧いづはら病院敷地内に市民の健康保持と市民相互の交流を図るための拠点とした施設ができないか、お尋ねいたします。

2点目は、ケーブルテレビの放映のあり方について、お尋ねします。

そしてその1点目といたしまして、去る4月7日の県議会議員選挙の開票の放映について、皆さんも頭の中にあると思いますが、なぜあのような放映になったのか、お尋ねいたします。

そして、2番目にケーブルテレビ番組表の表示の仕方と内容の充実については、NHKや民放の放送番組は、新聞やテレビの番組表でも時間や内容が記載されていますが、ケーブルテレビにはそれがありません。それは仕方のないことだとは思っておりますが、記載されているのは、つしまる通信とコミュニティインフォメーションの記載のみであります。せめて、テレビの番組表には放送する中身があるわけですから、その内容を記載すべきだと思いますが、いかがでしょうか。この2点についてお伺いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 吉見議員の御質問にお答えいたします。

初めに、旧いづはら病院施設の利活用についてでございますが、平成28年度に旧対馬いづはら病院改修基本計画の策定を行い、その中で歩行浴などを行う療養型の温浴施設への改修及び開設の可能性についての検討を行ってきたところでございますが、改修費用やその後の維持管理費など多額の財源を必要とすることから、市民の皆様のニーズや多くの市民の皆様に使用していただける施設として、どのように活用を図っていくかということ、改めて検討いただくために、旧対馬いづはら病院利活用検討委員会を設置し、御審議いただき、昨年9月に提言書をお受けしたところでございます。

御提言では、市街地から少し離れた高台に施設があるなどの位置的な状況から、高齢者の方々や一般住民の方々の気軽な利用は難しいとの御指摘がありますが、まちづくりの方向性や地域のニーズとマッチした施設としての利用は可能であるため、施設の特性を生かした市民活動の活性化や健康づくり活動、防災関連施設など、幅広い活用について検討を行い、有効な活用を図っていくべきであるとの御提言をいただいております。

また、提言書の結びに、急激に進む人口減少、高齢化による社会情勢の変化及び施設の老朽化による維持管理費、更新費用など、将来の財政負担等を踏まえ、施設の大規模な改修等については、慎重な検討が望ましいとの御提言をいただいております。

議員御提案の健康保持と交流施設につきましても、東里庁舎の旧健康管理センター1階部分を活用した運動やイベントスペース、旧レストラン部分を活用した多目的カフェ、多目的調理室等として活用するなど、施設の大幅な改修を必要としない市民活動の活性化や健康づくり活動を推進する施設としての活用を御提案いただいております。

本市といたしましても、現在、東里庁舎別館2階のいきいき健康課の事務室を1階の旧健康管理センター事務室内へ移すために、事務室の改修整備を進めており、市民皆様の利便性の向上とバリアフリー化を図り、健康相談や健康指導等を気軽に受けていただけるよう、施設の改修に努めているところでございます。

なお、議員御提案の健康保持や市民相互の交流等を図る拠点施設の利活用を進めるために、地域の方々が集まる仕組みづくりや、目的を持って施設を利用される方々のネットワークづくりが重要であろうと考えておまして、今後、地域のニーズに応じた有効な施設の利用を進めてまいりたいと考えております。

次に、ケーブルテレビの放映のあり方についてでございますが、対馬市CATVにおける有線放送の業務につきましては、指定管理者であります株式会社コミュニティメディアと基本協定書を締結し、その協定書に基づく放映をしているところでございます。

選挙の開票状況の放送につきましては、市長選挙及び市議会議員選挙のみ生中継放送で市民の皆様のお茶の間へお届けしているところではありますが、それ以外の選挙については、協定に含めておらず、通常県議会選挙であれば、中間の開票速報及び開票結果をテレビ画面を通してお知らせしてまいりました。

まず、速報の映像が繰り返し放送された理由につきましては、20時30分から開始した開票作業の風景を撮影し、その開票風景を背景に投票が開始されましたという文字テロップを載せ、4分間の映像を繰り返し放送したとのことでございました。これは、少しでも会場の雰囲気をお伝えしたいとの意図で行われたこととございますが、かえって同じ映像が繰り返し流れたことにより、開票作業が進んでいないように感じられた方もおられたのではないかと考えております。

また、中間速報が民放より遅かった理由でございますが、開票作業中も苦情の電話が市役所へ届いておりましたので、早速指定管理者から事情を聴取したところ、今回の選挙では開票会場に2名、美津島センターに3名のスタッフを配置し、中間発表から最終発表までのあいた時間に開票会場の雰囲気を伝えることを目的に、切り取りの動画映像を繰り返し放送することを計画したもので、開票が始まり、開票会場からセンターに送られた動画ファイルの出力に気をとられ、肝心の放送登録作業に不測の時間を要したとの報告を受けておりました。

次に、番組表の表示内容の充実についてでございますが、この件につきましては、昨年末に議員からコミュニティチャンネルの番組内容を詳しく表示できないものかと御提案いただきましたので、直ちに担当職員がコミュニティメディアに出向き、表示内容の充実について依頼をし、その後対応されていると報告を受けております。

議会中継や「おしえて！市役所さん」、学校通信などコーナーとして定期的に取材、撮影できるものは1週間先までの番組情報をお届けすることが可能でございますが、つしまる通信で放送する地域のニュースなどは、できるだけホットなニュースとしてお届けする必要もあることから、撮影から放送までに日数がないため、対応が難しい状況もございます。引き続き、番組表の充実に努めていただくよう指示もしております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 市長の公約として、旧いづはら病院跡地に療養型温泉施設をつくるという公約をされておりましたが、その公約は今でも変わりませんか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私も旧いづはら病院跡は、療養型の施設が一番ふさわしいのではないかという思いで、今回、検討委員会のほうへ諮問をしたところでございますけれども、今委員会からの御提言ということで、療養型の温浴施設については、以後の管理費等がかなりかかるというよ

うなことで、また別の方策がいいのではないかという御提言をいただいておりますので、そのことについては、また検討を重ねてまいりたいと思っておりますのでございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 私も検討委員会の資料、ちょっと見せてもらっているんですけども、その中に、この療養型温泉施設のことについて、各施設の方の御意見もずっと記録されておりました。その中身も一応御紹介したいと思うんですけども。

いづはら診療所としては必要ありませんと。理由はスタッフ不足、また人件費の問題も出てくるし、施設をつくるにしても3億円かかり、維持管理に毎月80万円かかる。巨額の資金を投じて施設をつくっても、集客が見込めるのか疑問である。また、施設側特老のほうからの意見も聞いてあって記録に残っておりますが、機能訓練を行えるかどうかという問題がある。排泄の問題が出てくる。衛生的な問題あり。利用料は入所者の負担になり問題になる。施設から温浴施設までの移動、つき添いに問題あり。特老のスタッフが入所者をサポートするのは困難である。今の段階では施設の利用は無理であるという利用者側からの意見もあるようでございます。

また、今市長の考えを聞きますと、またほかの方策もあるということですので、一応この療養型温泉施設は断念ということになるわけでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まだ、私自身もまだまだ完全に断念ということではございませんが、それに増して市民の方々が活用しやすい施設があれば、そちらのほうもあわせて検討してまいりたいということでございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 私たち、私は一般市民の方の意見もいろいろお聞きしてきているんですけども、この旧いづはら病院跡地の利用に対しては、老人の体力増進や筋肉不足のための、筋トレじゃないですけども、軽く筋肉を鍛えるような運動用具の設置、それから卓球台の設置、また生き生き体操の中で体操以外の中でフォークダンスなんかしたりしたら楽しいんじゃないでしょうかとか、カラオケを設置していただいて懐メロなどを歌い昔を懐かしむも若返りの一つとなるのではないかと思います。

そしてまた、囲碁、将棋を楽しむことのできるような静かな部屋も必要じゃないか、多目的な活動の場として活用すればよいと思います。活動していく中で、よい案がまた生まれてくるのではないかとも思います。

そしてまた、旧いづはら地区には公民館がないので、公民館的な活用の仕方もあるかと思っておりますので、家庭的なちょっと大きな炊事場等の設備も必要ではないかと思っておりますと、いろいろ意見は聞いておりますが、いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今、議員おっしゃられるように、いろんな方たちの意見を聞き入れて、総合的に検討をしてみたいと思っております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） そしてまた、提言書にもありましたけれども、いろいろ跡地利用を活用するに当たっても、維持管理にお金をかけないよにということがありました。もちろん私もそう思っております。とはいえども、やはり費用はかかるわけなんですから、ちょっと私は私なりに、市の税収をちょっと調べてみました。平成25年から28年の間で税収はふえておりますけれども、これは市税の関係でございます。残念ながら29年度は少々減少となっております。30年度はまだ統計結果が出ておりません。観光消費額、経済効果といえますか、年々ふえてきておまして、29年度は約186億8,000万円となっております。

また、こんなことを言ってもどのような財源を使われるかわかりませんが、市民の皆様が大体今、観光客がたくさん来られている中で、どのぐらい収入上がっているのかという疑問をよく私に聞かれますので、これを使えると思っております、ちょっと紹介をしております。

この今、空き家になっておりますので、家屋はあけておくと傷みがひどくなりますので、またひどくなれば、また予算も出費も重なりますので、なるべく早く早期着工していただきたいんですけれども、いつごろの目安を考えてありますでしょうか、検討委員会にもかけられたこともありますから、どうでしょうか。

それと、新聞記事をちょっと参考にさせていただきます。これは6月19日、きのう、おととい、19日ですね、西日本とか読売新聞、そのほかの新聞にも載っているかと思いますが、認知症対策として、予防に重点を置くということで新大綱を政府が決定したということが書いてあります。ちょっとその中から読んでみますと、

認知症対策を強化するため、政府は18日、発症や進行をおくらせる予防に初めて重点を置いた新たな大綱を関係閣僚会議で決定した。認知症の人が暮らしやすい社会を目指す従来方式の共生とともに、予防を二本柱に据え、2025年までの施策をまとめた。人との交流や運動不足の解消が予防につながる可能性に注目し、高齢者が地域の公園や公民館で体操や趣味を楽しむ通い場の充実を打ち出した。

このように書いてあります。これ以上にまだずっと続いているんですけども、このように政府が決定しておりますが、この記事は読まれたでしょうか、お伺いします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 認知症対策の関係が、国が策定したということは読みましたけども、その記事は私もちょっとまだ読んでいないのかなというふうに思っております。

それと、先ほどいつぐらいに予定をしているかということでしたが、当初基本計画構想をしたときは、できるだけ早い機会にという思いを持っておりましたけども、今現在は、他の公共事業等が目白押しでございまして、財源的に若干ちょっと、今時点ではすぐに着手できるのは厳しいのではないかという思いを持っておりまして、今ここでいつぐらいにしますということはやちょっと言えない状況でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） この新聞の報道は、このまさに私たち言っている、それと市のほうから利活用の検討委員会を立ち上げられたということと、全く一致すると思うんです。この中身を見ても、交付金などを出して推進してきたとも書いてあります。

だから、この趣旨に全く変わりませんので、ぜひとも早く結論を出していただきたいとします。緊急を要することだと思いますので、ぜひとも結論を出していただき、早期着工、早期完成を目指していただきたいとしますので、また後日でも何かの機会に返事をいただきたいとします。

次に、ケーブルテレビの関係ですけども、ちょっとパソコンを見ていただきたいとします。パソコンじゃないタブレット。参考資料として出しております、出されましたら参考資料、私ケーブルテレビの関係で、ケーブルテレビは、平成16年の3月1日に合併したときに、市の政策としてケーブルテレビを設置したいということで、そのときは既に美津島町はありましたけれども、新市になってそれ以外のところにも設置するというので、そのときにこのケーブルテレビにかかわり合っただけの担当課の課長さんが、私の記憶では比田勝課長ではなかったかなと思っておりますが間違いありませんか、そうでしょ、そう思います。

そこで、お尋ねします。このケーブルテレビをつくる目的は何だったんでしょうか、お尋ねします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） その当時の市長がぜひとも合併によりまして、この等しく情報を享受するためには、ケーブルテレビが必要だというようなことでこの計画をされたものというふうに考えております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 私もこのときは、総務常任委員会に所属しておりましたので、この件は総務常任委員会の管轄でしたので、よく比田勝課長とは、そのときの課長とはよくお話ができました。

そういうことから、当時をすごく懐かしく思って説明をさせていただきますが、このケーブルテレビをつくるに当たっての目的は、等しく市民が同じものを共有するためにということであつたら

れたと思います。そのときは松村市長でしたが、そのように言われてできたこのケーブルテレビでございます。

ところが、この今これ見てください、私の参考資料ですが、1番目は今言いました開票速報の関係ですね。これ2番目が選挙の開票速報の対馬市が70.22%の投票率だったと、それでこのように市民がみんな関心持っている、この報道をなぜしなかったのかということで、これは市民がともに共有する出来事の最大のものじゃないかなと思って、このようにつくってみました。

3番目は、つしまる通信とコミュニティインフォメーションということで表をつくっておりますが、これの中で、これは21日の金曜日のことです。ちょっとそのときに思い立ったものですから、この21時30分から23時ちょうど、1時間30分の録画をして、後から見てみました。そしたら上のほうに書いていますように、コミュニティの番組の内容が対馬市からのお知らせ、官公庁からのお知らせ、ケーブルテレビテレビからのお知らせとインターネットコマーシャル、一般の広告コマーシャル、またケーブルテレビのコマーシャルとあって、この2、4、5の項目が大体大まかにこのようにありました。これを一巡することが1回で30分かかっておりました。この1時間半の放送は、1回が30分の録画ですから3回繰り返し、同じものが1時間30分ありました。これは21日の金曜日でございます。下の欄はまとめたものですから、その次4番目を、また同じつしまる通信とコミュニティインフォメーションの統計をとってみました。この日もずっとありまして、24時間ですから、つしまる通信は4時間だけでした。それに比べインフォメーションは20時間です。インフォメーションといいますと、今さっき言いました市からのお知らせ、県からのお知らせもろもろのそんな同じことの繰り返しです。また次の平日と土曜日と日曜日にも一応調べとかないかなと思って調べてみますと、今言ったのは土曜日、今度は6月23日の日曜日は、つしまる通信は1週間の話題ということで1回サイクリングが2時間でした。これを見たときに私、本当に物すごいよかったです。これやったらいいなと思って見てみたら、2時間かかっておりました。そしたらそれで終わって、続けてインフォメーションは30分を何回も、2時間半も3時間も4時間も同じことを6回、7回ち回しているのに、このつしまる通信は1週間の話題を変えておりますけども、このときは体育大会とかあじさい祭りとか、それとか金田小学校、県の消防大会がありました。県下の高総体もありまして、中身をずっと2時間で一つのサイクルでした。

でも本当中身は充実、ああと思ってずっと見ておりましたが、その2時間1回転しただけで終わっておりました。これも、2回だったら4時間かかりますけども、それはそれでいいと思うんです。コミュニティインフォメーションは、一つのサイクルが30分やとに、この上では4時間30分かかっています。これは4時間30分で6回、2、4、8回ですか。私が録音したのがこの欄の上から3番目、8時30分から12時までの3時間30分を録画して見てみました。そし

たらこれは30分がサイクルですから、7回ですね。7回同じことを繰り返しているんです。3時間30分です。同じく録画していませんけれども、その後も14時から18時30分、4時間30分、多分同じことの繰り返しだろうと思います。

そんなことなので、全て24時間体制で統計とっております。日曜日は今言ったように、つしまる通信1週間の話題って本当に充実した放送をされておりました。それが8時間でした。インフォメーションは16時間で24時間でしょ。

26日はまた私にとっていましたけど、日にちがきていないからしていませんが、24、25は今この一般質問議会があつておりますので、それで多分充実しているだろうと思います。

最終的に、3番を開いてください。3番です、これまとめてみました。6月21日の金曜日、21時30分から23時までの1時間30分で1サイクル30分と考えて3回放送しておりました。

6月22日の土曜日、これは9時半から12時まで2時間30分、30分のサイクルで5回同じもの、続けて、続けて放送しています。

次、6月23日は21日と22日と同じで、時間は8時半から12時まで3時間30分7回、同じものを7回ばつと3時間30分繰り返してしているんです。

ああこれだけ私たちが、ちょっとケーブルテレビ11チャンネル何を放送しているのかとかけるたびに、こんな放送ばかりです。見られたことありますか。私この質問するに当たって、本当1週間、10日前から、ずっと見て、そしてこんな、わって、すごいね、これはケーブルテレビをつくった目的は何よと、目的を達成していないじゃない、そう思いました。

ケーブルテレビは大体どんな、ちょっと箇条書きにして聞きたいと思いますので、ちょっと箇条書きに書いてくれませんか。今言いましたように、ケーブルテレビの開設の目的は一つ聞きましたのでいいです。

次は、ケーブルテレビの事業はどんなことがありますか。ケーブルテレビの防災無線は市の事業でしょうかという私問い、だろうと思いますけど、市民の方が知られていないことがあったもんですから、それとつしまる通信の番組の更新は大体何曜日とか、何日とか、定期的に更新されているのでしょうか。

それと、取材に回られる方のことなんですけれども、29年度末に従業員が大勢かわったと聞いておりますが、そのときはかわる前は、よく取材の方をよくまちで見かけて何かとかあるときは、よく取材の方、カメラ抱えて回ってあるのをよく見ておりましたけれども、このごろはほんと見ません。その結果が、この今言いましたインフォメーションの放映時間にもあらわしているなど思うんです。だから、放映時間はつしまる通信の時間が逆転すれば充実すると思うんです。

また、コマーシャルがすごく多いです、今言ったように。その点も含めまして、ちょっと今聞



きました、事業、ケーブルテレビの事業していることと、内容いつ更新されているのかと、その従業員の勢かわられた結果がこのようになったと、私は思っているんです。コマーシャルは多いとか多くないとか、言えるか言えないかわかりませんが、そこ辺を含めまして回答をお願いします。

○議長（小川 廣康君） 総務部長、有江正光君。

○総務部長（有江 正光君） 5点ほど質問されたというふうに認識をしておりますが、質問の趣旨を十分理解できない部分がありましたので、もし答弁が漏れておれば、後ほど御指摘をいただきたいと思えます。

まず、防災無線は市の事業かということでございますが、今言うように有線テレビ網を活用して、市のほうで放送を行っております。

つしまる通信の番組の更新の時期についてでございますが、基本的には1週間単位で番組の掲載をしていくようにしておりますので、1日、きょう済めば、次の分の番組編成、内容が決まっておればそれをまた掲載するというような方法をとっております。

取材クルーを最近職員の異動があつて見ないよと、そのあたりが放映時間にも影響しているんじゃないかということで、確かに職員の異動はあつております。そういう部分では、追いつかない部分もあるかと思いますが、今、その質問の中でございました、たびたびというか数回繰り返される放送と取材が十分できれば、そちらのほうの放映ができるんじゃないかというような意味の質問のようでしたが、直接的に、それは関係する部分ではございません。

以前から、この市からのお知らせであるとか官公庁からのお知らせ、当然皆さん民放を基本的にテレビをごらんになられると思えます。その放送時間を限定しておけば、情報を聞き逃す場合もございますので、そのあいた時間は繰り返しそういう情報を流していくというような考え方で当初から整理をされているというふうに私は認識をしております。

CMが多いがということでございますが、CATVは御承知のとおり指定管理で運営をしております。CM作成、CMの放映に関しましては、指定管理者の自主事業ということで、協定のほうで設けておりますので、そちらのほうでも営業いただいて、運営資金、運営経費を確保していただくと、そういう意味で認めた事業でございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） その29年度に従業員の方が勢かわられて、その前がすごくよかったのに、現在はこのような状態だということに対しては、どのように思われますか。

それともう一つ、この私が言いました、いろいろと統計というか集計しましたが、こういうことになっているということ、わかっておられましたでしょうか。

以上、2点お願いします。

○議長（小川 廣康君） 質問の趣旨わかりますか。総務部長、有江正光君。

○総務部長（有江 正光君） 29年の職員の異動で取材が十分にできていない、そのあたりの認識はあるのかという御質問でございますが、職員が異動しているということは承知をしております。そういう報告をいただいていますので、それがどういう事情で職員の異動があったかというのは、私どもが直接関与する部分ではないのではないかというふうに思っております。

あと、取材の活動であるとかそういう部分の取り組みについては、そういうことは職員の異動等というのは理由になりませんので、十分こちらからも、その都度頑張ってくださいように話もしてきたところでございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 私が今、いろいろ調べた中味のこと言いましたけれども、これを聞いてどのように思われたでしょうか、ちょっとお尋ねします。この放映の仕方ですよ、どのように思われました、コミュニティインフォメーションの放映なんです。30分が1サイクルとして、2時間、3時間、4時間とあります。それは4時間だったら30分が一回りとして8回です。3時間30分だったら7回、同じものをその3時間30分の間に5回、6回するんです。どう思われますか。それよりもそれを減らして、つしまる通信のほうを余分に置くのが本当じゃないか。これがつしまる通信というのは、対馬で起こったいろいろな行事や何かいろいろなものを伝えるのがつしまる通信のようにありますので、この時間は大体私であれば反対が本当じゃないかなと思うんですけども。

以上。

○議長（小川 廣康君） 総務部長、有江正光君。

○総務部長（有江 正光君） ベストかベターかという問題なのかなというふうに思います。当初からこのような放送のスケジュールでやっていくということは、もう了解の上のことであつたらうというふうに私は思っております。

以上です。

○議員（6番 吉見 優子君） そうですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） ちょっと私のほうからも、ちょっと補足をさせていただきますけれども、当初から、まず1日5回でしたか、30分番組のつしまる通信を放映しています。この30分番組をつくるのに、かなりのやっぱり時間を費やしてまいりますので、この間のインフォメーション等について、またほかの番組を流すというのは、なかなかここはかなりの労力が必要になってくるのではないかなと、私自身そう感じております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 今の市長の答弁と、大分前に言われました、その放映するのは市議選と市長選ということになると、県議選はしていないと、契約というかそのようにはしていないということですが、もう今一番関心は選挙だと、対馬市の実際に皆様が影響あることが一番の関心事だと思うんです。

今言われました取材とか、また番組のつくり方とかいろいろ言われましたけれども、市の方は、なぜケーブルテレビのほうを向いて話されるんですか。市民のほうを向いて対処されるのが本当ではないかと思いますが、いかがですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） ちょっと私も今の意味がよく理解できませんけども、要は今、議員のほうからこちらにお尋ねがあつているということで、こちらといたしましては、行政側から、そしてまた市が委託契約をしたCATV側から、その質問にお答えをしているということで理解していただければと思います。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） いろいろ言っても契約じゃ内容じゃ、なかなか私もわかりにくうございます。

最後になりますけれども、対馬市のケーブルテレビは、対馬市が自主放送する対馬市民のためのケーブルテレビだと思います。主役はやはり対馬市民なんです。このことを踏まえまして、対馬市はこのケーブルテレビに巨額な資金を投じて立ち上げられたテレビですが、初心に返って、市民が同じことを共有するという立場から、初心に返ってこの放映のあり方を真剣に考えてほしいと思います。改善されたケーブルテレビを見るのを私は楽しみにしております。これに費やして、私は、本当この1週間から10日間、普通の見たいテレビ番組もやめて、これテレビに一生懸命統計とってきました。その気持ちわかってもらいたいと思います。

また、来年令和2年の3月には市長選挙があります。令和3年の5月には市議選挙があります。今さっき説明されたように、市議選と市長選は放映するということですから、この放映されたいこともあるでしょうけれども、今後の課題として県議選まで入れていただきたいと思います。

以上でございます。これで、私の質問を終わります。

○議長（小川 廣康君） これで、吉見優子君の質問を終わります。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開は、3時5分からとします。

午後2時50分休憩